

第7回 化学人材育成プログラム

～化学産業による大学院博士後期課程支援制度～

募集要項

2016年8月

主 催 : 一般社団法人 日本化学工業協会
化学人材育成プログラム協議会

後 援 : 文 部 科 学 省
経 済 産 業 省

公益社団法人 日本化学会

公益社団法人 化学工学会

公益社団法人 高分子学会

1. はじめに

化学人材育成プログラムは、日本の化学産業における国際競争力の強化と産業振興の基盤となる若手人材の育成を目的に、化学産業界が求める人材ニーズを大学に発信し、これに応える大学院専攻とその学生を産業界が支援するものです。

【化学産業界が求める高度理系人材像】

- ① 特定分野に関する深い専門性に加え、幅広い基礎的学力を持つ人材
- ② 課題設定能力に優れ、解決のために仮説を立てて実行できる、マネジメント能力を持った人材
- ③ リーダーシップ、コミュニケーション能力に優れた人材
- ④ グローバルな感覚を持った人材

2. 支援内容

1. 化学産業界が求める高度理系人材像の発信と産学の共有、及び大学院専攻における高度理系人材育成の先進事例の横展開のためのシンポジウムの開催
2. 支援対象専攻の優れた取組みを日化協HPに掲載
3. 化学産業教育の支援（化学産業の魅力、化学産業界が求める高度理系人材像、キャリアパスなどを発信）
4. 化学産業（企業）の理解浸透及びキャリアデザイン支援のための学生・企業交流会の開催
5. 学生の研究活動に関して、学生と企業との交流の機会を提供するための研究発表会の開催
6. 支援対象専攻の中から、特に優れた人材育成の取組みを行っている専攻を選定し、各専攻から推薦された学生に対して奨学金を給付（1学生あたり月額20万円を3年間支給、1専攻あたり1学年に1名を推薦）

3. 対 象

大学院化学系専攻・博士後期課程

4. 今回選考する大学院・専攻への支援期間

2018年4月1日から5年間

5. 応募方法

(1) 応募期間

2016年9月1日から2016年10月17日(必着)まで

(2) 応募書類

「化学人材育成プログラム申請書」日化協HP※よりダウンロードできます。

※ <http://www.nikkakyo.org/> にアクセス

社会との対話、貢献 → 人材育成 → 化学人材育成プログラム

(3) 応募先・方法

提出はE-Mailでお願いします。件名を「第7回申請書(〇〇大学大学院〇〇専攻)」とし、申請書のファイル名を「〇〇大学大学院〇〇専攻.doc」として大学(院)名と専攻名がわかるようにお願いします。但し、一枚目の『「第7回「化学人材育成プログラム」への応募』については押印後PDFでお送りください。また、参考資料は別資料とし、申請書同様に大学名と専攻名がわかるようにしてお送りください。

宛先：jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp

化学人材育成プログラム協議会 事務局

電話：03-3297-2563(事務担当：日本化学工業協会 労働部)

6. 選考方法

(1) 審査項目

化学産業界で活躍できる以下のような博士人材を育てる教育カリキュラムの内容及び研究実績を審査します。

<人材像>

- 1) 特定分野に関する深い専門性に加え、幅広い基礎的な学力を持つ人材
- 2) 課題設定能力に優れ、解決のために仮説を立てて実行できる、マネジメント能力を持った人材
- 3) リーダーシップ、コミュニケーション能力に優れた人材
- 4) グローバルな感覚を持った人材

<研究実績>

- 5) 過去5年間の代表的な博士後期課程学生の研究実績

(2) 参考項目

審査にあたっては、化学系企業への就職実績等も参考にします。

- ・過去5年間の博士後期課程修了者の化学系企業への就職実績
- ・当プログラム奨学金給付対象専攻においては、奨学生の化学人材育成プログラム協議会会員企業への就職実績

(3) 審査の進め方

提出された申請書の内容について、化学人材育成プログラム審査委員会による審査（非公開）を行い、支援対象専攻及び奨学金給付対象専攻を選定します。

1) 一次審査（書類審査）

提出いただいた申請書の内容について、書類審査を実施します。

2) 二次審査（プレゼンテーション審査）

一次審査を通過した専攻について、当該専攻の教員にプレゼンテーションを行っていただき、その内容を審査します。

二次審査を実施する場合には、選考日の詳細等について専攻宛に通知します。なお、二次審査にあたっては追加資料を使用することができます。

3) 審査結果の通知

審査結果は、『支援対象専攻として採択』、『奨学金給付対象専攻として採択』、及び『不採択』のいずれの場合も、専攻長宛に通知します。

7. 奨学金給付について

奨学金給付対象専攻として採択された専攻から推薦された学生に対し、奨学金を給付します。採択された専攻は採択決定通知後、別紙の対象学生の推薦書と履歴書を事務局まで送付することにより、給付対象学生を推薦してください。

(1) 給付

2018年度、2019年度、2020年度、奨学金給付対象専攻の博士後期課程進学者、各年度1名について、月額20万円を修了時まで原則3年間、給付します。

※本奨学金は給付とし、返還は求めません。ただし、以下のいずれかに該当する場合には奨学金の打ち切り及び返還を求めることがあります。

- ・当該専攻の履修を中止した場合
- ・正当な理由がなく、3年間で修了できない場合又は修了できないことが予想される場合
- ・その他奨学金を給付することが不相当と認められる場合

(2) 給付対象学生

①奨学金給付対象専攻の決定後、給付対象学生の推薦については、当該専攻に行ってください。

②奨学金給付対象学生は、以下の全てに該当する者としてします。

- ・化学系企業への就職意思を有する者
- ・月額8万円以上の他の奨学金や政府からの支援を受けていない者

③給付対象学生には、参加企業に対する研究活動報告等を行っていただきます。

(3) 奨学金給付の辞退

奨学金給付学生の推薦提出後、当該学生が何らかの理由（例：他の奨学金の給付を受ける）で奨学金給付を辞退する場合は、奨学金給付開始前に限り、専攻在籍の他の学生を再推薦することができます。

奨学金給付開始後の奨学生の変更は認められません。（奨学金給付開始後、奨学金を辞退する場合は、当該学生の残りの給付期間については専攻への奨学金給付は行いません。）

8. フォローアップについて

支援対象専攻に対して、支援継続の妥当性を確認するため、申請書に記載した博士人材育成の取組み状況について、書面等による報告を求めることがあります。

9. スケジュール（予定）

2016年 9月 1日	募集開始（申請書受付開始）
10月 17日	募集締切（申請書受付締切）
	一次書類審査、一次書類審査結果送付
11月 28日	審査委員会（二次プレゼンテーション審査）
12月初旬	支援対象専攻・奨学金給付対象専攻の決定通知
2018年 4月	支援開始
2023年 3月	支援終了

一般社団法人 日本化学工業協会

化学人材育成プログラム協議会

〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1

住友不動産六甲ビル

E-Mail:jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp

